

学校に関するアンケート結果について

秋冷の候、保護者様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、先日は学校評価のためのアンケートに御協力をいただきましてありがとうございました。その結果につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

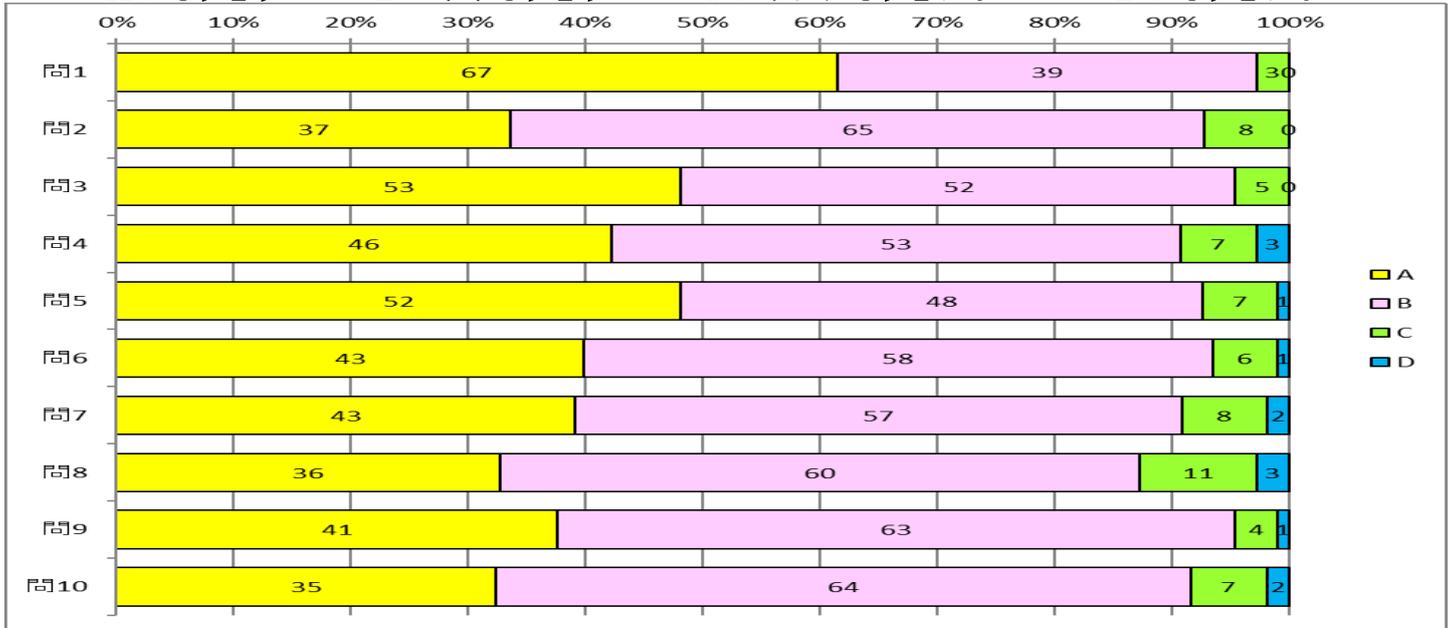
《保護者の設問・結果》

- 問1 お子さんは、「明るく、心豊かな子」に育っていると思われませんか。
- 問2 お子さんは、「自ら学び、よく考える子」に育っていると思われませんか。
- 問3 お子さんは、「健康で主体的に取り組む子」に育っていると思われませんか。
- 問4 お子さんは、「あいさつのできる子」に育っていると思われませんか。
- 問5 お子さんは、毎日喜んで登校していると思われませんか。
- 問6 学校（学級）の教育方針や子どもの様子は、学校・学級だよりや参観日等で伝わっていますか。
- 問7 学校は、子どものことについて気軽に相談できると思われませんか。
- 問8 学校は、いじめや不登校のない楽しい学級づくりに努めていると思われませんか。
- 問9 学校は、楽しくわかる授業づくりに努めていると思われませんか。
- 問10 学校は、安全で快適な教育環境が整っていると思われませんか。

□ 学校に望む（期待する）ことはなんですか。（3つまで選択）

- ①学力向上の推進 ②心の教育や人権教育充実 ③体力向上の推進 ④学校行事充実 ⑤体験活動充実
- ⑥社会ルールやきまりを守る指導 ⑦教職員の資質・指導力の向上 ⑧特別支援教育の充実
- ⑨防災・安全対策の充実 ⑩開かれた学校づくり ⑪施設・設備の充実 ⑫その他

A：そう思う B：ややそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない



【学校に望む（期待する）こと】:

- 1 ②心の教育や人権教育の充実 (77)
- 2 ⑥社会ルールやきまりを守る指導 (68)
- 3 ①学力向上の推進 (61)
- 4 ③体力向上の推進 (37)
- 5 ⑤体験活動充実 (31)

() 内：カウント数

【保護者のアンケート 考察】

肯定的評価（そう思う・ややそう思うを合計した割合）が、全体で93%（昨年91%）であり、10項目中9項目が90%以上であった。（昨年は4項目）総じて良い傾向にある。特に

問2「自ら学び」(+9ポイント) 問3「健康で主体的」(+6ポイント) 問7「相談」(+5ポイント) 問10「教育環境」(+7ポイント)で、顕著に良い方向に伸びている。逆に問6「学校の様子が伝わる」問8「楽しい学級づくり」はいずれも3ポイント減少しており、深刻に受け止めなくてはならない。特に問8「いじめ、不登校のない学級づくり」は、否定的評価は13%である。学校に要望する項目では、昨年と上位3つは同じ項目ではあるが、「社会ルールやきまりを守る指導」が「学力向上」を抑えて2位に上昇している。4位に「③体力向上の推進」5位に「⑤体験活動充実」が入っている。グラウンドが狭くなり、コロナ禍で体験的、活動的な行事が削減、縮減されるなどの影響が表れていると考えられる。

3つまで選択 上位の5項目を記載



【児童のアンケート設問・結果】

問1 明るく心豊かな子

①友達にやさしくできましたか。 ②友達をいじめたり、悪口などを言ったりしないで仲よく過ごせましたか。

問2 自ら学び、よく考える子

①自分から進んで勉強や宿題ができましたか。 ②自分でよく考え、勉強や生活ができましたか。
③毎日、家庭学習に取り組めましたか。(目安は、学年×10分)

問3 健康で主体的に取り組む子

①体育の授業では、進んで運動ができましたか。 ②休み時間や放課後の部活でたくさん運動ができましたか。

問4 あいさつのできる子

①先生方 ②地域の方 ③おうちの人

問5 毎日楽しく登校できましたか。

問6 先生方は、あなたが困ったときに相談ののってくれましたか。

A : よくできた

B : 多少できた

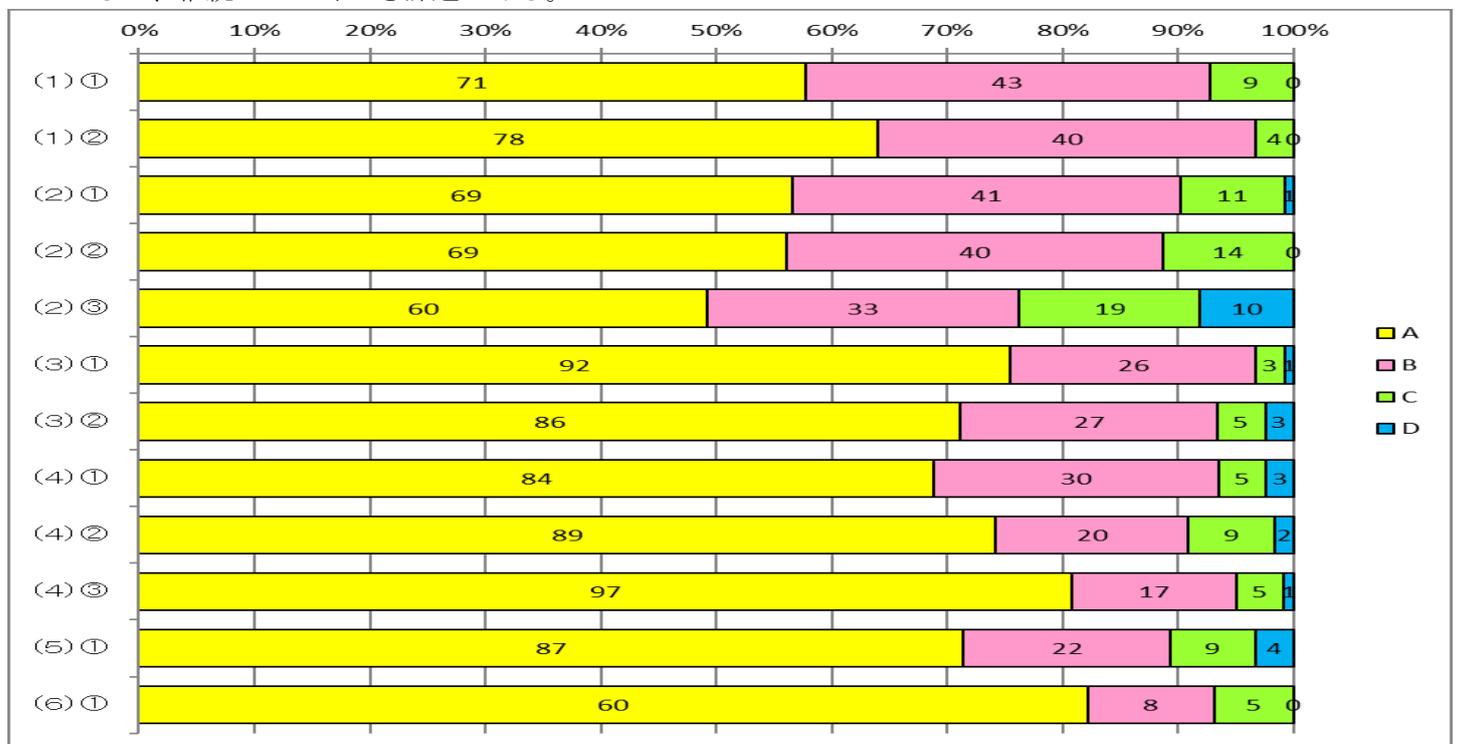
C : あまりできなかった

D : できなかった

【児童のアンケート 考察】

肯定的な評価(「よくできた」「多少できた」を合計した割合)が、昨年と同様の91%であった。設問全体を通じてよく達成しているという評価が得られた。

肯定的評価が昨年度より上昇した項目は問1②「仲良く過ごす」(+5ポイント)、問3②「休み時間等での運動」(+8ポイント)である。部活がない分、休み時間や昼休みに元気に遊んでいる姿がみられる。問3①「体育の授業で、進んで運動」問4①「あいさつのできる(先生方)」③「あいさつのできる(おうちの人)」と高かった。その反面、問2②「自分でよく考え、勉強や生活ができた」は(-4ポイント)と下降した。例年、課題となっている問2③「毎日の家庭学習」では、肯定的な評価が76%(昨年は77%)でほぼ変わらない結果であり12項目中、最も低い。家庭学習カードで定着を目指しているが、継続していくべき課題である。



全体的な考察

目指す児童像「明るく心豊かな子」「自ら学び、よく考える子」「健康で主体的に取り組む子」の観点から

- 「明るく心豊かな子」については、保護者の97%、子どもたちの95%が肯定的な評価をしている。また、『学校に望む(期待する)こと』でも「心や人権教育の充実」が最も回答が多く、期待に応えていけるよう、道徳教育を要に充実を図っていく。
- 「自ら学び、よく考える子」については、子どもたちの86%に対し保護者は85%と、ほぼ同じ肯定的な評価であった。『学校に望む(期待する)こと』の3番目に回答が多かった、「学力向上の推進」も踏まえ、今年度後半は「家庭学習」の意欲化を図りつつ、話し合いや発表などの活動を入れた授業を充実させていきたい。また、保護者の「楽しくわかる授業づくり」の肯定的評価は95.4%であり、さらなる授業力向上をめざし、全職員で校内研修を充実させ、取り組んでいく。
- 「健康で主体的に取り組む子」については、保護者は95%(昨年89%)、子どもたちは97%(昨年91%)であり、肯定的な評価が顕著に伸びた。これはコロナ禍の中でも、予防に努め、体育の時間や休み時間等にグラウンドで元気よく運動したことが要因と考えられる。『学校に望む(期待する)こと』では「体力の向上」は4番目である。今年度末まで、工事によりグラウンドがより狭くなってしまうが、体育館を活用し、体育科の授業でも工夫をして、体力の向上を目指したい。また、心身ともに健康な身体作りには、ゲームによる寝不足や基本的な生活習慣の乱れの影響も大きいと考えられる。子どもたちのスマホの活用状況などの実態把握に努めて、適切な情報活用の知識、技能等も含め、「栄養・運動・休養」のバランスのとれた生活の大切さも指導していく。

